

公益社団法人富山県サッカー協会 2021年度第8回理事会

2022年1月20日 開催

決議事項

1. 新理念、ビジョン制定の件

公益社団法人富山県サッカー協会の新しい理念、ビジョンを資料1の通り制定したい。

承認

報告事項

1. 日医工SA人工芝張替計画の件

日医工スポーツアカデミーの人工芝張替を計画している。1面はJFAサッカー施設整備助成金、滑川市が申請しているtotoの助成金等で見通しが立ったが、もう1面も張替えるため、資金集めや滑川市への協力要請などを行っている。

2. 射水市フットボールセンター管理運営業務受託者決定の件

射水市フットボールセンター管理運営業務受託者を射水市が募集していたが、株式会社フクシエンタープライズ（本社：東京）に決まった。1月11日、発表。

3. 種別委員会活動報告の件

・技術委員会

22日、高志会館カルチャーホールで、フットボールカンファレンスを行う。午前中は技術委員会からの報告、午後には会長から新理念、ビジョンの発表、元日本代表の佐藤寿人氏からストライカー論を語ってもらう。

・医学委員会

16日にオンラインで全国医学委員長会議が行われ、アンチドーピングの件が話題になった。県レベルでの啓蒙がなされていないので、色々な方向から啓蒙出来ればと思っている。

・4種委員会

12月末にU-12選手権全国大会が開催され、鹿児島県へ視察に行ってきた。富山県代表のFCひがしは0勝1分2敗となり勝てなかった。北信越では福井県の大虫FCが2勝し、グループ2位となったが、残念ながら決勝トーナメント進出とはならなかった。

・女子委員会

30日に今期2回目の女子普及フェスティバルを今までと違った形で企画している。コロナの影響もあり、開催については慎重に進めていきたい。

・フットサル委員会

北信越リーグは1部、2部、女子が全日程終了し、1部ではトロブラボ富山が3位、2部ではディアブロが4位、女子ではOWNGOALが優勝し、ラオフエンが7位となった。OWNGOALは2月末に茨城県で開催される地域チャンピオンズリーグに参加する。

全日本選手権関係は、優勝がトロブラボ富山、準優勝がディアブロ。優勝したトロブラボ富山は22日から福井県で行われる北信越大会に出場する。

女子の北信越大会はOWNGOALは準決勝で敗退した。

U-18交流戦は参加12チームで、優勝はVIENTO-U-18、準優勝は不二越工業高校と成り、この2チームは長野県で行われた全国大会に参加した。